

国立国語研究所学術情報リポジトリ

発話の多角的特徴づけ：対照研究への寄与

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 熊谷, 智子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002903

発話の多角的特徴づけ ——対照研究への寄与——

日本語教育センター 日本語教育教材開発室

熊谷 智子

0. はじめに —— 談話の対照研究における必要性

- 分析の枠組み：個別言語内の分析にとどまらないもの
- 談話分析のための資料の蓄積

1. ここで述べる分析枠の考え方

- 話しことばによる談話、中でも複数話者による会話を対象とする
会話を「ことばによるはたらきかけ」のやりとりと見る
- 談話を一定の発話の単位（move、中田（熊谷）1990 参照）に分割し、その各々についてははたらきの特徴を分析・記述する。その結果が時間軸に沿って連なったものから談話の流れを観察する。
- 多角的な視点からの吟味の必要性
談話に関わる複数の要因（Hymes 1972、杉戸 1983）を考察する。
特定の言語・文化の色彩にとらわれない発話の特徴記述を試みる。
(cf. Searle 1975, Wierzbicka 1987)
- 様々な視点に対応する複数の分析項目を設け、選択肢のチェック方式による特徴づけを行なう。
- 談話（会話）の文字化から付加情報付きの第二次資料を作成する手段を提供

2. 分析の観点（中田（熊谷）1990、1991）

- ・発話のきっかけ（発話の誘因、誘因と会話の参加者の利害関係、など）
- ・話し手（自身の発話として言ったのか、代弁や伝言か、など）
- ・聞き手（直接の相手、「聞かせ」の対象、不特定多数の聞き手、など）
- ・話し手と聞き手の関係の明示化（力関係、親疎関係、など）
- ・発話のはたらき、「機能」（情報要求、行為要求、陳述・表出、など）
- ・相手へのはたらきかけの姿勢（操作的、教示・伝達の、攻撃的、共感的、など）
- ・話題・内容に対する話し手の姿勢（確信の度合い、評価態度、など）

- ・明示性（明示的な発話か、婉曲な発話か）
- ・命題（含まれるかどうか、内容の客観・主観性、主語・主題など）
- ・他の発話との関わり方（同調性、うけつぎ、など）
- ・メタ言語性（言語形式、言語行動、談話の進行などに言及しているか）
- ・談話構成上のはたらき（話題転換、しめくり、などの作用を果たしているか）
- ・プロセスの一部か（説得、説明などより大きなまとまりの一部として位置づけられるか）

*発話行為動詞の特徴抽出から得られたもの。ただし、発話行為、発話行為動詞、発話の分析は、混同してはならない。動詞のレベルから発話の分析に応用するには、今後さらなる補充・修正が必要。

3. 分析結果から何が見えるか

- 一覧表をタテにたどれば、個々の項目（観点）から見た談話の流れ
話順/turn の配分、わりこみ、よこどり（3人以上の会話）、などはたらきかけのやりとりの流れ、特徴的なはたらきかけの種類、など
話題の転換点、相互の発話のうけつぎ、談話運営の仕方、など

- 一覧表をヨコにたどれば、ある発話の多角的特徴づけが見られる。

*ただし、個々の発話は独立して存在するのではなく、あくまで特定の文脈の流れにおいて当該の特徴づけがなされたことには留意すべき。

4. 応用の可能性

- 特定の談話の特徴分析（談話全体の特徴、話者別の特徴、など）

- ある程度の談話資料を分析し、第二次資料として蓄積

→様々な視点からの分析の材料として、付加情報が利用できる。

複数言語の資料について共通の枠組みでの情報が付いていれば、対照研究の基礎資料となる。

（ことばによるコミュニケーションの仕方、談話運営のストラテジー、各種発話行為の社会・文化的意味合い、などの比較）

- 外国語教育の教材用の談話分析資料

会話テキストの「機能分類表」。一連のテキストについて、様々な観点からのインデックスが付いたようなもの。

5. 問題点・課題

- 単位分割の問題（発話機能のバリエーションの考え方との関係）
- 分析項目の精密化、修正
- 特定の談話をとりまく「場」の諸要因（物理・心理的場面、話者間の基本的な人間関係、など）を分析項目としてどのような形でとりいれるか
- より大きなまとまりのレベル（話題、あるいは「説得」などより大きなまとまりによって果たされる機能）での分析とどう結びついていけるか

★この方法の場合、分析材料の「眺め方」、処理の仕方としては、とにかく発話された全ての部分を一定のやり方に従って同じように考察してみる、という形。

対人行動として談話を見る際、一つの方法で全ての側面をとらえることはおそらく不可能であろう。目的に応じた複数の手段を併用することも重要である。

[参考文献]

- Hymes, D. (1972) "Models of the Interaction of Language and Social Life"
In Gumperz & Hymes (eds.) Directions in Sociolinguistics. New York: Holt,
Reinhart & Winston
- 中田（熊谷）智子（1990）「発話の特徴記述について - 単位としての move と分析の
観点 -」 『日本語学』 9-11
- （1991）「発話分析の観点 - 多角的な特徴記述のために -」
国立国語研究所報告103『研究報告集 12』 秀英出版
- Searle, J.R. (1975) "A Classification of Illocutionary Acts" Language in
Society 5
- 杉戸清樹（1983）「待遇表現としての言語行動 - 「注釈」という視点 -」
『日本語学』 2-7
- Wierzbicka, A. (1987) English Speech Act Verbs: A Semantic Dictionary.
Sydney: Academic Press

発話のうけわたし

発話番号	話者	発話	1A	1B	1C	1D	1E
22-001a	北野A	橋塚さん、	1				
22-001b	北野	これなんかいいんじゃないやありません？	1				
22-002	北野	大きさもね、たっぷりしてるし。	1				
22-003a	橋塚B	ええ？		2			
22-003b	橋塚	そうねえ。		2			
22-004	橋塚	この赤っていうのがねえ。		2			
22-005	橋塚	あたし、だいたい赤系統はあんまり似合わないのよ。		2			
22-006a	北野	あ、	2				
22-006b	北野	色違いもあるんですよ。	2				
22-007	北野	ほら。	2				
22-008	橋塚	そうねえ。		2			
22-009	橋塚	どう？		1			
22-010a	北野	え、	2				
22-010b	北野	お似合いですよ。	2				
22-011	北野	若く見えて、いいんじゃないかな。	2				
22-012	橋塚	若く見える？		2			
22-013	橋塚	だけど、あたしがこういうのすると、スイカにハエがとまったみたいなんだもん。		2			
22-014	門田C	別に、橋塚さんがお買いになるわけじゃないんだから。			4		
22-015	門田	これ、けっこう人気あるんでしょ。			1		
22-016a	店員E	え、					2
22-016b	店員	この辺が今、一番よく出てまして。					2
22-017a	門田	じゃあ、これにしましょ、			3		
22-017b	門田	ね。			3		
22-018	北野	そうですね。	2				
22-019	北野	保育園のお母さんたちも、よくこんなの使ってますから。	2				
22-020	三浦D	それじゃあ、ウエストポーチはこれ、デイバックはさっきのあの紫のやつでいいですね。				2	
22-021	橋塚	うん。		2			
22-022	橋塚	あとは、値段よね。		1			
22-023	三浦	ええ。				2	
22-024	三浦	まあ、そういうわけで、バザーの目玉商品つてことで、ひとつ、勉強してもらえると。				3	
22-025	店員	はあ。					2
22-026	店員	ま、地元のみなさんのことですので、もう格安にさせていただきたいと思いますが。					2

発話のうけわたし

1. 非応答的 (誰かの発話への応答ではない発話)
2. マトモの応答 (自分に向けられた発話に対し、その発話者に)
3. 横わたし (自分に向けられた発話に対し、その発話者以外の話者に)
4. わりこみ (自分に向けられていない発話に対し、その発話者に)
5. 横どり (自分に向けられていない発話に対し、その発話者以外の話者に)

談話構成上のはたらき

発話番号	話者	発話	21A	21B	21C	21D	21E
22-001a	北野A	篠塚さん、	4				
22-001b	北野	これなんかいいんじゃないですか？	4				
22-002	北野	大きさもね、たっぷりしてるし。					
22-003a	篠塚B	ええ？					
22-003b	篠塚	そうねえ。					
22-004	篠塚	この赤っていうのがねえ。					
22-005	篠塚	あたし、だいたい赤系統はあんまり似合わないのよ。					
22-006a	北野	あ、					
22-006b	北野	色違いもあるんですよ。					
22-007	北野	ほら。					
22-008	篠塚	そうねえ。					
22-009	篠塚	どう？					
22-010a	北野	え、					
22-010b	北野	お似合いですよ。					
22-011	北野	若く見えて、いいんじゃないかな。					
22-012	篠塚	若く見える？					
22-013	篠塚	だけど、あたしがこういうのすると、スイカにハエがとまったみたいなんだもん。					
22-014	門田C	別に、篠塚さんがお買いになるわけじゃないんだから。				5	
22-015	門田	これ、けっこう人気あるんですよ。				10	
22-016a	店員E	え、					
22-016b	店員	この辺が今、一番よく出てまして。					
22-017a	門田	じゃあ、これにしましよ、				5	
22-017b	門田	ね。				5	
22-018	北野	そうですね。					
22-019	北野	保育園のお母さんたちも、よくこんなの使ってますから。					
22-020	三浦D	それじゃあ、ウエストポーチはこれ、デイパックはさっきのあの紫のやつでいいですね。				11	
22-021	篠塚	うん。					
22-022	篠塚	あとは、値段よね。		4			
22-023	三浦	ええ。					
22-024	三浦	まあ、そういうわけで、バザーの目玉商品ってことで、ひとつ、勉強してもらえると。				4	
22-025	店員	はあ。					
22-026	店員	ま、地元のみなさんのことですので、もう格安にさせていただきたいと思いますが。					

談話構成上のはたらき

1. 話の開始
2. 話の終結
3. きりあげのきっかけ
4. 話題の転換/開始
5. 話題のしめくくり
6. スピーチなど、ひとまとまりの独話のはじめ
7. スピーチなど、ひとまとまりの独話のおわり
8. 司会などによる進行
9. 話/話題の中断
10. 話/話題の再開
11. 話/話題の中間的まとめ

発話のはたらき—はたらきかけの姿勢

発話番号	話者	発話	10A	10B	10C	10D	10E
22-001a	北野A	橋塚さん、	3-0				
22-001b	北野	これなんかいいんじゃないですか？	1-1				
22-002	北野	大きさもね、たっぷりしてるし。	4-1				
22-003a	橋塚B	ええ？		5-4			
22-003b	橋塚	そうねえ。		5-0			
22-004	橋塚	この赤つていうのがねえ。		4-2			
22-005	橋塚	あたし、だいたい赤系統はあんまり似合わないのよ。		4-13			
22-006a	北野	あ、	5-0				
22-006b	北野	色違いもあるんですよ。	4-2				
22-007	北野	ほら。	3-2				
22-008	橋塚	そうねえ。		5-0			
22-009	橋塚	どう？		1-4			
22-010a	北野	え、	5-13				
22-010b	北野	お似合いですよ。	4-13				
22-011	北野	若く見えて、いいんじゃないかな。	4-13				
22-012	橋塚	若く見える？		5-4			
22-013	橋塚	だけど、あたしがこういうのすると、スイカにハエがとまったみたいなんだもん。		4-12			
22-014	門田C	別に、橋塚さんがお買いになるわけじゃないんだから。			4-2		
22-015	門田	これ、けっこう人気あるんですよ。			1-4		
22-016a	店員E	え、					5-2
22-016b	店員	この辺が今、一番よく出てまして。					4-2
22-017a	門田	じゃあ、これにしましょ、			2-1		
22-017b	門田	ね。			2-1		
22-018	北野	そうですね。	5-5				
22-019	北野	保育園のお母さんたちも、よくこんなの使ってますから。	4-2				
22-020	三浦D	それじゃあ、ウエストポーチはこれ、デイパックはさっきのあの紫のやつでいいですね。				1-4	
22-021	橋塚	うん。		5-2			
22-022	橋塚	あとは、値段よね。		4-1			
22-023	三浦	ええ。				5-0	
22-024	三浦	まあ、そういうわけで、バザーの目玉商品つてことで、ひとつ、勉強してもらえると。				2-1	
22-025	店員	はあ。					5-0
22-026	店員	ま、地元のみなさんのことですので、もう格安にさせていただきますと思いますが。					4-5

行為的機能

はたらきかけの姿勢

1. 情報要求
2. 行為要求
3. 注目要求
4. 陳述・表示
5. 注目表示
6. 関心表示
7. 関言
8. その他

1. 振作的 (行動を促すなど、相手を動かそうとする)
2. 教示・伝達の (教える、伝える)
3. 非教示的 (情報を明確に出さない、伝えない)
4. 教示要求的 (相手に教示を求める)
5. 自己拘束的 (約束、承諾など、自身の未来の行動を限定)
6. 攻撃的 (強硬な攻めの態度)
7. 共感的 (同情、感銘など、感情的レベル)
8. 共感要求的 (相手の共感を誘おうという姿勢)
9. 感情調整的 (興奮、怒りなど感情の揺れを静める)
10. 肯定的 (相手を肯定的に評価する姿勢)
11. 否定的 (相手を否定的に評価する姿勢)
12. 均衡回復的 (相手との有利・強弱などの立場不均衡を軽減)
13. 評価表明的 (何らかの評価・価値判断などを表明する)
0. その他